

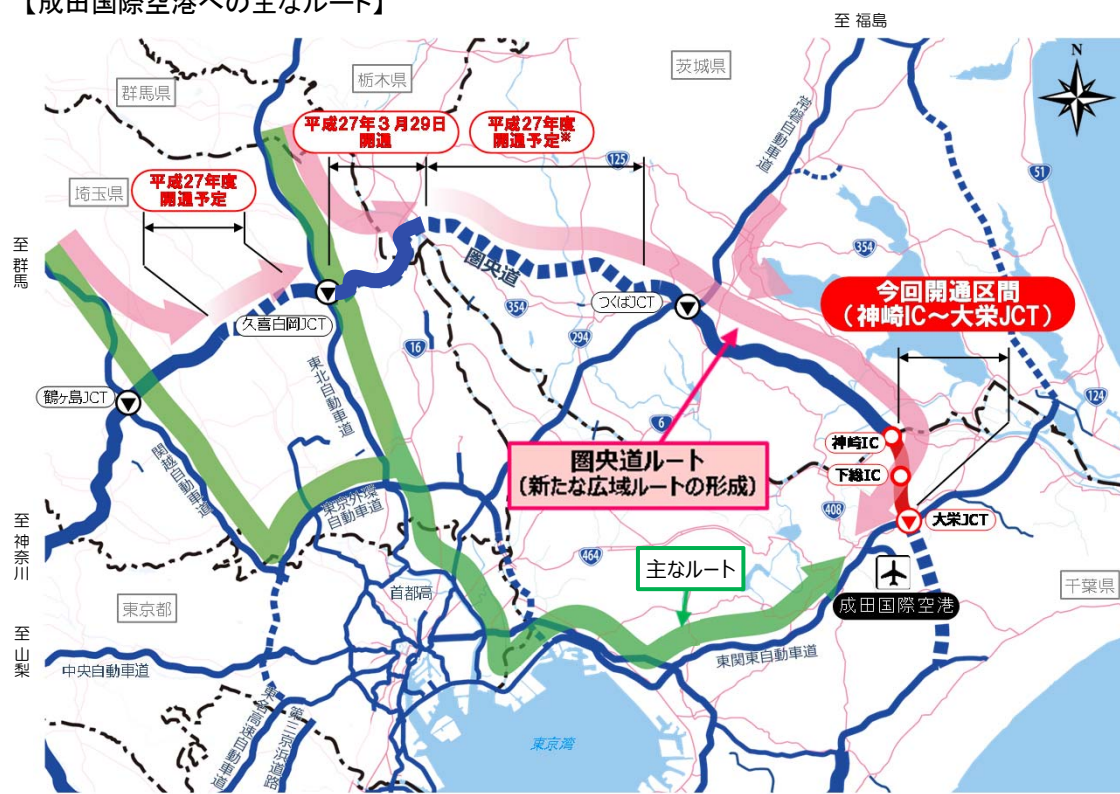
効果②

地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 成田国際空港における国際航空貨物輸出量の約2割は埼玉や北関東・東北方面から発着しています。
- 圏央道の整備により、都心を経由せず埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。

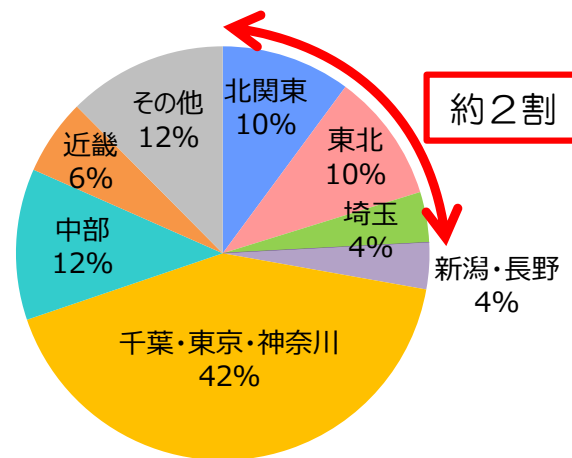
圏央道の開通で、新たな広域ネットワークが形成

【成田国際空港への主なルート】



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

【成田国際空港における発着地別輸出貨物量の割合(重量ベース)】

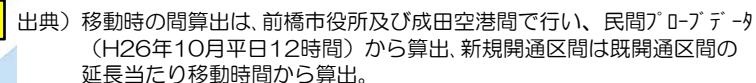


東北には北海道を含む。
北関東は、茨城県・栃木県・群馬県
中部は、岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
近畿は、滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

出典) 平成25年度 国際航空貨物動態調査報告書

地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

圏央道の開通で、時間信頼性の高い広域ネットワークが形成



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

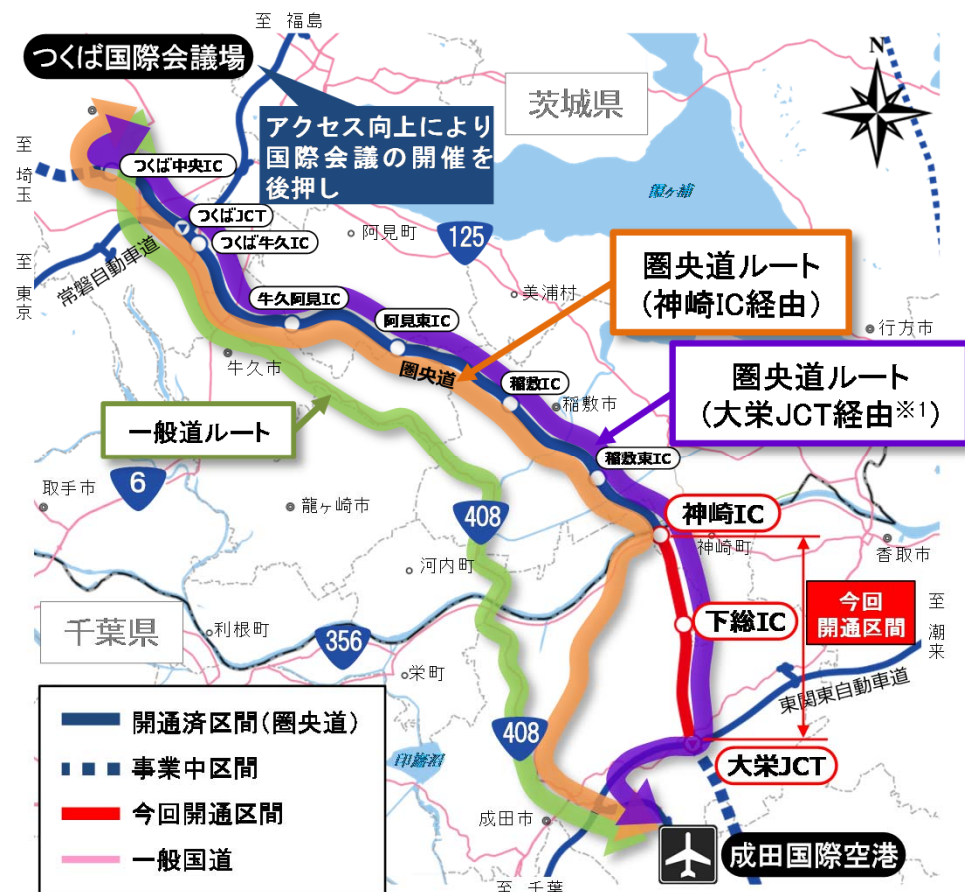
効果②

地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

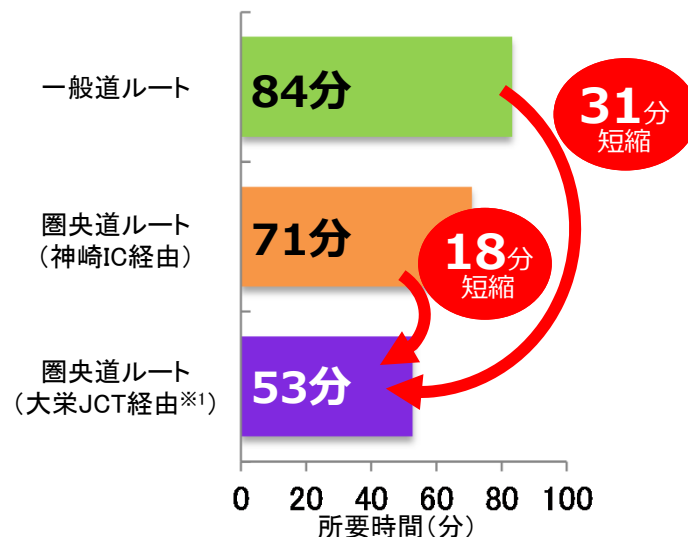
- 圏央道（神崎IC～大栄JCT間）の開通により、常磐道と東関東道がつながり、成田国際空港からのアクセス性が向上します。
- 成田国際空港からつくば国際会議場までの所要時間が短縮され、道路混雑等による到着遅れの少ない安定的な移動が可能になることで、国際会議の開催の後押しが期待されます。

圏央道で常磐道と東関東道がつながり、成田国際空港からのアクセス性が向上し、国際会議の開催を後押し

【つくば国際会議場⇄成田国際空港間のアクセス】



つくば国際会議場⇄成田国際空港間の所要時間の変化



出典: 民間プローブデータ

H26.5～H26.9の昼間12時間(7:00～19:00)上下平均旅行速度を基に算出

※1 神崎IC～大栄JCTは未開通区間のため、規制速度(70km/h)で算出